

耳鼻科の病気

▽慶友銀座クリニック・大場俊彦院長、慶應義塾大学大学院医学研究科博士課程修了。日本耳鼻咽喉科学会認定専門医、日本レーザー医学会認定専門医、日本気管食道科学会認定専門医など。

「鼻血で病院に来る人がいるんでろん、鼻、副鼻腔、上咽頭の良性ですか?」――。患者さんと雑談しや悪性の腫瘍が原因の場合もありますが、本當です。

他には血液自体の病気である血小板の減少や、白血病、血友病、遺伝的な血管の病気が原因となることもあります。

鼻血といふと一般的に鼻をほころべます。最も多いのが高血圧で、じつたり、鼻毛を抜いたり、鼻をす。血管がぱんぱんに張っているぶつけたり、殴られたりした時なので、出血しやすく、ちょっとしど、鼻の中が傷つけられて出血するイメージがあります。

よく「鼻出血は脳出血の症状か
ひとつでしようか」という質問を
受けるのですが、脳からの出血が
鼻に出てくることはなく、経験上
も一例もありません（脳梗塞等の
治療薬等）で、元々副作用の薬を服用

鼻血の原因は一つ、二つじゃない

臓や腎臓の病気による鼻血もあり（なります）。

耳鼻咽喉科の専門医は、既往歴

斜鼻などの構造的なもの、小児に

脳梗塞や心筋梗塞の治療薬であるを含め、出血部位や出血状態を観察するワーファリンやバファリンなど、単純な出血か否かを判断しない

炎であるウエゲナー肉芽腫症など
による鼻中隔の穿孔^{せんこう}。出皿す

の、血をサテサテにする薬、かが原因になることもあります。薬の生質上、血が止まつくなつてのことで他の大病院から紹介され、診断していきます。

麻薬の吸引で鼻腔の内部を左右

に仕切る壁である鼻中隔に穴がある方の内服が多いので、見逃すことがなく鼻出血も報告されています。むがないように治療していきます。

らの出直しのケースもありまし
た。